

「Let's Enjoy English at HOME!」

自宅でできる英語について

(児童生徒のみなさんへ)

英語は、使ってみたい言葉を繰り返し聞いたり話したりして、体に染み込ませるのがコツ！小学校4年生以上のみなさんは、昨年度までに学習したことをおさらいするのもよいでしょう。知っている英語、自分の思いをすらすら言える（中学生は書ける）ようになるまで、使ってみましょう。

【こんな教材を使って、英語に触れましょう】

①【小学生、中学生共通】

- NHK ゴガク（ラジオ番組。スマホのアプリでも聞けます。）

例 小学生向け…基礎英語0
中学1年生向け…基礎英語1
中学2年生向け…基礎英語2
中学3年生向け…基礎英語3



- NHK for school（テレビ番組。インターネットで視聴できます。）

例 3・4年生向け…えいごビート2
5・6年生向け…基礎英語0
中学生向け…知りたガールと学ボーイ



- Oxford Owl（レベル別の絵本が無料で読めます。登録必要。）

<https://www.oxfordowl.co.uk/>



②【小学校5・6年生】

今年度使う英語の教科書には、QRコードが付いているページがあります。QRコードを読み取ると、そのページの内容に関連した音声や動画を見ることができます。それをお手本にしながら、教科書の内容を予習することができます。

③【中学生】

英語で日記や予定を書くことにチャレンジしてみましょう。日記や予定を書くということは、まさに「自分自身のこと」について書くことです。教科書には出てこない表現を身に付け、自分の言葉を増やすチャンスにもなります。スマホ向けの英語日記アプリもあり、スマホで日記をつけることもできます。

(保護者のみなさまへ)

家族でチャレンジ！～家庭でできる簡単英語ゲーム～

①メモリーゲーム ☆体を使って英語に親しもう☆

体の部位の名前を覚えるゲームです。英語の遊び歌としてよく歌われている「Head, Shoulders, Knees & Toes」のように、遊びながら英単語を覚えられますよ。

進め方

最初の人が自分の体の部位を触り、その部位の英単語を言います。次の人は最初の人真似をして部位を触りながら英単語を言い、追加でほかの部位を触りながら英単語を言います。このように、どんどん発音する体の部位を増やしていきましょう。

メモリーゲームの例（2人で行う場合）

最初の人：“A head.”（頭。）

次の人：“A head and a mouth.”（頭、口。）

最初の人：“A head, a mouth, and a hand.”（頭、口、手。）

次の人：“A head, a mouth, a hand, and an arm.”（頭、口、手、腕。）

このゲームに勝ち負けはありません。子供が間違えたり、忘れたりするようなら助けてあげてください。始めに繰り返す回数を8～12回とするなど、目標を設定してあげても良いでしょう。目標となる数をこなせるよう、親子で楽しみながら遊んでみてください。

②英単語の綴り当てゲーム ☆カードを使って英語に親しもう☆

イースター（復活祭）にちなんだゲームです。内容は文字探しとアルファベットの並び替えです。

進め方

卵型に切り抜いた紙を18枚用意して、それぞれに「E」「A」「S」「T」「E」「R」と一文字ずつ3セット書いてください。準備ができれば、その紙を部屋の中に隠しましょう。子供が紙を見つけ、正しく「EASTER」と並べられたら正解です。子供が覚えるまでは見本として、1セットは隠さずに並べて置いても良いかも知れません。逆に慣れてきたら「G」や「O」など使わない文字を混ぜて、宝探しと文字合わせを楽しみましょう。遊ぶ時の指示を、英語で出すのもいいですね。

◆Easter Matching Game の指示の例

”Find the 6 letters that spell EASTER.”（イースターの6文字を探して。）

”Put the letters in the correct order.”（文字を正しい順番に並べてね。）

“EASTER”以外にも、子供になじみのある身の回りのもの（例：pen, book, TV, banana など）でもできます。子供が紙を見つけてちゃんと並べられたら”Good work!”（よくできました!）や”Good job!”（よくやったね!）と褒めてあげましょう。

引用「子供英語タイムズ」

<https://world-family.co.jp/cetimes/two-three/english/article-364.html>